

研究課題名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌の薬剤感受性変化と分子疫学的調査
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 薬剤部病棟業務課 氏名 田中 一平
研究期間	(西暦) 2018年 2月 ～ 2022年 1月
研究の意義・目的	<p><意義> 過去のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（以下、MRSA）情報をもとに、地域特性を反映したMRSA感染症治療を受けることができる可能性がある</p> <p><目的> 武蔵野赤十字病院にて検出されたMRSAを用いて、各種抗菌薬および消毒薬に対する感受性の変化を調査検討する</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>①武蔵野赤十字病院各診療科より微生物検査室へ微生物検体が提出され、MRSAが検出される</p> <p>②臨床検査技師は検出された全MRSA株を東京薬科大学薬学部病原微生物学教室（以下、大学）が作成した穿刺試験管培地に接種する</p> <p>③検査室内でMRSA接種済み試験管培地（以下、MRSA検体）を常温保管する</p> <p>④MRSA検体が20検体程度集まった時点で薬剤部 田中が大学へ検体を搬送する</p> <p>⑤搬送されたMRSA株に関して、大学で分子疫学調査を行う</p> <p>⑥大学で得られた調査結果をもとに匿名化された診療情報を用いて統計解析を行う</p> <p><研究期間> 2018年2月1日から2022年1月31日（4年間）</p> <p><検体の対象期間> 2018年2月1日から2021年1月31日（3年間）</p>
<p>①試料・情報の利用目的および利用方法 (匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む)</p> <p>②利用し、または提供する試料・情報の項目</p> <p>③利用する者の範囲</p> <p>④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称</p>	<p>①<目的> 地域特異的なMRSA薬剤感受性パターンの動向を把握する</p> <p><方法> MRSA検体に対し匿名加工情報化処理を行った後、MRSA検体を東京薬科大学 薬学部 病原微生物学教室へ輸送する。MRSA検体を長期保存処理後、所属大学施設内にて保管する。また研究対象者一検体対応表については、武蔵野赤十字病院薬剤部内に設置された鍵のかかるロッカーに保管する。使用した菌株については、本研究期間終了まで保管する。本研究期間終了後の菌株の保管期間に関しては、東京薬科大学 薬学部 病原微生物学教室の判断にゆだねる。菌株の廃棄方法については、当該施設にて適切に処分する。情報については、研究全体の終了日から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間、適切に保管する。</p> <p>②<試料> 検体の対象期間に武蔵野赤十字病院の全診療科から検出された全MRSA株</p> <p><情報> MRSAが採取された患者の年齢、性別、入院時病名、既往歴、住所（都道府県・区市町村）、保菌・感染状況、診療科および病棟、検体の種類および部位、MRSAの各種抗菌薬・消毒薬への感受性、MRSAの各種薬剤耐性遺伝子・毒性遺伝子の保有状況</p> <p>③<試料> 武蔵野赤十字病院の本研究における研究者、東京薬科大学薬学部病原微生物学教室の本研究における研究者および学生</p> <p><情報> 武蔵野赤十字病院の本研究における研究者</p> <p>④武蔵野赤十字病院薬剤部病棟業務課 田中 一平</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 薬剤部病棟業務課 氏名 田中 一平</p> <p>TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525</p>